

第46回特別展 「たのしむ・語らう・大阪の書画」

令和8年 3月14日(土) ~ 5月17日(日)

本展示は、美術作品を語り合いながら楽しく鑑賞して頂きたい、という目的で、江戸時代後期から昭和時代前期までに大阪で制作された作品をご紹介します。

大阪で活躍した岡田米山人・半江や矢野橋村のほか、池田ゆかりの上田耕夫・耕冲・耕甫や須磨対水などの館蔵作品とともに、大岡春ト《涅槃図》(久安寺蔵)、吉村周山《松梅に鶴図・桐に鳳凰図》(託明寺蔵)を展示し、池田に遺る貴重な作品を知って頂く機会となりました。

とくに、上田耕夫《滝見山水図》は、摂津国池田(木部村)出身で、京都で写生派の円山応挙に学んだ絵師による、貴重な一幅です。流れ落ちる滝を三人の人物が眺めて盃を交わしています。文人画における「自娛(じご)」=詩書画の鑑賞や創作をとおして絵の世界に没入してたのしむ、という考え方を思わせる、たのしげな作品です。一方、耕夫の子、上田耕冲《桜花図》は波で揺らぐ水面に映り込んだ「逆さ桜」を主題とし、四季の風情を情趣豊かに表現しています。床の間でたのしむ作品が好まれた大阪の文化を象徴する作品です。耕冲は大阪で活動し、その子耕甫は住友家や野村援を得て活躍しました。



上田耕冲《桜花図》
(歴史民俗資料館蔵)



上田耕夫《滝見山水図》
(歴史民俗資料館蔵)



私的な交友に基づいて制作された書画を鑑賞空間で共有することは大阪の書画の特徴の一つでした。展示期間中はかつての大阪の人びとのように鑑賞体験の共有ができるよう、作品に登場する人物や動物が何を話しているかを想像して書き込む「大阪の書画、語らう」コーナーも設けました。

また、記念講演会では大阪商業大学商業史博物館主席学芸員の明尾圭造氏にご登壇頂いたほか、一茶庵宗家嫡承の佃梓央氏による煎茶会や、ミニ掛軸作りのワークショップも開催しました。

さらに、逸翁美術館(公益財団法人阪急文化財団)「和モダン大阪 一日本画コレクション」展と連携し、2館を観覧してスタンプを集めた方に絵葉書をプレゼントする企画や上席学芸顧問の仙海義之氏による「語らう」コーナーのご講評も実施しました。

今後もさまざまな観点から美術作品に親しみを持って頂けるよう取り組んでまいります。

令和7年度事業紹介

1、管理運営事業

入館者数 総計 22,203 人

2、資料の収集・保存

(1) 新規収蔵資料

①寄贈資料 24 件 339 点

②購入資料 2 件 3 点

(2) 資料修復等 3 件

3、展示事業

(1) 常設展 目で見る池田の歴史

期間：令和7年4月2日～令和8年3月1日

入館者数：20,933 人

(2) 企画展

①第170回企画展

「池田文化と詩歌—その作品と人—」

期間：令和7年3月19日～7月6日

入館者数：5,432 人

②第171回企画展

「終戦80年 戦争と池田」

期間：令和7年7月16日～11月9日

入館者数：9,408 人

③第172回企画展

「ちょっと昔のくらしの道具」

期間：令和7年11月19日

～令和8年3月1日

入館者数：6,624 人

(3) 特別展

第46回特別展「たのしむ・語らう・大阪の書画」

期間：令和8年3月14日～5月17日

入館者数：4,625 人

4、市史編纂事業

(1) 講座・イベント等

①公民館連携講座

演題：室町幕府と池田

開催日：令和7年9月28日

講師：松永和浩市史編纂委員会委員

参加者：52 人

②パネル展

「市史も土層もミルフィーユ展」

期間：令和7年8月28日～9月5日

場所：市役所1階ロビー

「あのこと、モノクロ、池田のまち」

期間：令和8年2月6日～25日

場所：中央公民館1階展示コーナー

(2) 市史編纂委員会

①市史編纂委員会委員

委員長 小田康德（大阪電気通信大学名誉教授）

副委員長 野高宏之（奈良県立大学名誉教授）

委員 田中晋作（山口大学客員教授）

松永和浩（大阪大学適塾記念センター准教授）

②市史編纂委員会

令和7年8月6日、令和8年2月18日

3、レファレンス対応

(1) 資料閲覧 5 件

(2) 資料画像利用 9 件

(3) 市民問合せ等 71 件

4、調査研究

(1) 調査・研究出張 4 件のべ9 名

(2) 調査協力 3 件のべ6 名

5、教育普及

(1) 学校連携

①出前プログラム…5 校 453 人

②見学プログラム…7 校 616 人

③授業支援プログラム…2 校 203 人

(2) 講師派遣…3 件

6、博物館実習…3 名受入（令和7年8月6日～10日）



特別展記念講演会



企画展ミュージアムトーク

池田市では、平成5年(1993)より『新修池田市史』の編纂に着手し、平成24年(2012)までに全6巻を刊行しました。その後も今日に至るまで、池田市の歴史を物語る資料を多岐にわたって収集・調査しています。令和7年(2025)4月からは業務が社会教育課から歴史民俗資料館に移管され、より充実した事業を進めている最中です。

令和7年度は、市史編纂委員会を2回開催し、委員より市史編纂事業の取り組みを評価いただくとともに、今後の取り組みについて貴重なご意見を頂戴しています。また、『広報いけだ』に市史編纂委員会委員による「市史編纂だより わがまち歴史散歩」を連載しました。池田の近世、近代の歴史について、資料を踏まえてご紹介しています。

ほかにも、中央公民館展示コーナーで昭和10～50年代の市内の写真パネル展を開催しました。アンケートによれば「懐かしい池田を見て楽しかった」など概ね好評いただいています。さらに、公民館との連携講座を開催し、市史編纂委員会委員の松永和浩先生により、中世池田の歴史の核となる国人池田氏について、近年の室町時代研究を踏まえてご講演いただきました。今後もさまざまな事業を続けてまいります。



公民館連携講座

館蔵資料紹介

ガリガリがつくった1枚

「ガリ、ガリガリ……」この音、聞いたことがありますか。かつて学校や役場の片隅で響いていた、ガリ版(謄写版)の音です。ガリ版とは、手で版を作って印刷する、いわば昔のコピー機。やすり板の上にロウ引きの原紙を置き、鉄筆で一文字ずつ刻むと、原紙に目には見えない小さな穴が開き、そこを通ったインクが紙に写ります。



力を入れすぎれば極薄の原紙は破れ、弱すぎれば文字がかすれる——そんな緊張感のなかで、指先に伝わる感触を頼りに原版を仕上げていきます。ときには思いどおりにいかず、何度も書き直すこともあったでしょう。失敗は、すぐにやり直せません。そして、刷りたての紙からはインクの匂いが漂い、気づけば指先はインクで真っ黒に汚れている。そこには、コピー機によるボタンひとつの印刷では得られない確かな手応えがありました。

デジタルの文字は誰が打っても同じ形ですが、ガリ版の文字には書き手の癖や息づかいがにじみます。かすれやにじみも、その瞬間にしか生まれない「一点もの」の証。印刷物が手作りだった時代、そこには情報だけでなく作り手の技術と思いが刻まれていたのです。効率化のなかで失われたこの「手のぬくもり」が、今、再び人々の心を捉え始めています。

令和8年度展示・開館スケジュール

	2026年								2027年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
大展示室	特別展 たのしむ・語らう・大阪の書画 〔会期〕 3月14日(土)～5月17日(日) 江戸時代以降、大阪で活躍した画家や知識人の作品を展示し、私的な交友に基づく豊かな大阪の文化をご紹介します。		常設展 目で見える池田の歴史 〔会期〕 5月30日(土)～8月23日(日) 9月2日(水)～11月3日(火) 池田の歴史や文化について、古代から現代まで実物資料からご紹介します。(会期中随時展示替えを行います)						特別展 てのひらの記憶 〔会期〕 12月12日～令和9年2月28日(日) 戦後からインターネット普及期までの道具の進化を辿り、人びとが何を失い、何を得たのかを問いかけます。				常設展 目で見える池田の歴史 〔会期〕 3月13日(土)～池田の歴史や文化について、古代から現代まで実物資料からご紹介します。
小展示室			企画展 昭和100年 プレイバック！昭和の池田 〔会期〕 5月30日(土)～8月23日(日) 令和8年、昭和改元から満100年となることを記念して、昭和時代の池田のまちなみの変化や人びとのくらしの変化を辿ります。			企画展 古文書をたのしむ ―池田の歴史ソムリエ― 〔会期〕 9月2日(水)～11月3日(火) 館蔵資料から引越しや旅行など現代生活にも通じる内容の古文書を紹介し、たのしみながら池田の歴史を味わっていただきます。							企画展 美術に見る四季(仮) 〔会期〕 令和9年3月13日(土)～美術作品を通して季節に親しんだ大阪の人びと。絵画や工芸品にあらわされた春夏秋冬を紹介します。
展示替え休館			5月20日(水)～29日(金)				8月26日(水)～30日(日)		11月4(水)～12月11日(金) 設備更新及び展示替えのため臨時休館				3月3日(水)～12日(金)

2026 7 July						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			プレイバック! 昭和の池田			
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2026 8 August						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	展示替え休館				

2026 9 September						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		古文書をたのしむ				
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026 10 October						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026 11 November						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026 12 December						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2027 1 January						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2027 2 February						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2027 3 March						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



〒563-0029
 大阪府池田市五月丘 1-10-12
 TEL/FAX 072-751-3019
<https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/kyoikuiinkai/rekishi/index>



アクセス※駐車場有(無料)
 電車■阪急宝塚線「池田」駅下車徒歩15分
 バス■阪急バス「池田」③のりばから「辻ヶ池公園前」下車徒歩5分
 ④のりばから「五月丘」下車徒歩8分